

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **59133179 A**

(43) Date of publication of application: **31.07.84**

(51) Int. Cl

B65H 75/42

(21) Application number: **58006849**

(71) Applicant: **SANYO ELECTRIC CO LTD**

(22) Date of filing: **18.01.83**

(72) Inventor: **SAITO KAZUO**

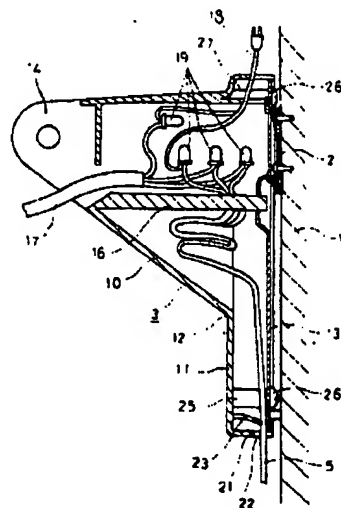
(54) **CASE FOR ELECTRICAL EQUIPMENT**

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japio

(57) Abstract:

PURPOSE: To permit smooth lead-in and -out of an electric cord by forming the insertion part for the electric cord on the wall edge part on the opening side of a case member and forming an elastic rib having a necessary thickness in the part close to the insertion part.

CONSTITUTION: The case for electrical equipment, e.g., the stand 3 of a wall type electric fan is constituted of a case member 12 equipped with a stay part 10 and a base part 11, and a cover 13 for closing the opening part of the case member. The feeder cord 17 connected to a motor part is lead into the upper space in the case member 12 and connected to a control cord 5, power cord 18, solderless terminal 19, etc. In this case, the control cord 5 is engaged in meandering onto a pin 16, etc., and lead-out outside the case member 12 from a notched insertion part 22 formed on the lower-side wall 21 of the base part 11. An elastic rib 23 and a boss 25, etc., are installed in the base part 11 in the vicinity of the insertion part 22. Thus, the control cord 5 can be lead-out and lead- in smoothly in the utilization of the elastic force of the elastic rib 23.



⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—133179

⑪ Int. Cl.³
B 65 H 75/42

識別記号

庁内整理番号
7539—3F

⑬ 公開 昭和59年(1984)7月31日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 電気機器ケース

守口市京阪本通2丁目18番地三
洋電機株式会社内

⑮ 特 願 昭58—6849

⑯ 出 願 人 三洋電機株式会社

⑰ 出 願 昭58(1983)1月18日

守口市京阪本通2丁目18番地

⑱ 発 明 者 斉藤和雄

⑲ 代 理 人 弁理士 佐野静夫

明 細 書

1. 発明の名称

電気機器ケース

2. 特許請求の範囲

1. 合成樹脂等のたわみうる材料にて成型された一側開口のケース部材と、前記開口を閉塞する蓋体とを備え、前記ケース部材の前記開口側壁縁部に電気コードの挿通部を形成し、前記ケース部材内の前記挿通部に近接した部分には端縁と前記蓋体との間隙が前記電気コードの厚さより小なる弾性リブを形成してなる電気機器ケース。

2. 前記挿通部及び弾性リブ及び蓋体の前記電気コード当接部分を円弧状にしてなる特許請求の範囲第1項記載の電気機器ケース。

3. 発明の詳細な説明

(1) 産業上の利用分野

引き出される電気コードの長さを設置時、使用時等に変更して使用される電気機器ケースに関し、具体的には電扇コード、制面コードの長さ調整を行なう壁掛扇風機、空気調和機の室内機、ウィン

ドファン換気扇、ジュース・ミキサー等の調理機等に関する。

(2) 従来技術

電気機器ケースから引き出される電気コードは、ケース内の引出口近傍に螺子等にて固定するか、引出口にコードブッシングを介して圧入ぎみに保持させていた。従って前記電気コードの引き出し長さを変更する場合はその都度分解しなければならず、不都合なものであった。特に、制面コードの長さ変更は、電気機器ケースを所定場所に固定して行なうことが多く、特に使用勝手の悪いものであった。

(3) 発明の目的

電気コードの引き出し長さ調節を容易に行なえ、確実な保持が行なえる電気機器ケースを提供する。

(4) 発明の構成

合成樹脂等のたわみうる材料にて成型された一側開口のケース部材と、前記開口を閉塞する蓋体とを備え、前記ケース部材の前記開口側壁縁部に電気コードの挿通部を形成し、前記ケース部材内

の前記伸通部に近接した部分には、端縁と前記箱体との間隙が前記電気コードの厚さより小なる弾性リブを形成し、該弾性リブの前記電気コード移動方向へのたわみにより該電気コードの引き出し、押し込みを容易に行なえ、前記弾性リブの押圧力にて、前記電気コードを確実に保持できる構成としたものである。

実 施 例

壁掛扇風機(1)は、壁面(Ⅱ)に固定した取付具(2)に引掛支持されるスタンド(3)と、該スタンド(3)に俯仰角調整自在に且つ首振自在に装着される扇風機主体(4)と、前記スタンド(3)下部より前記壁面(Ⅱ)に添って垂下せしめられる平型制御コード(5)と、該制御コード(5)の下端部に接続される制御箱(6)とよりなる。前記扇風機主体(4)は、前記スタンド(3)に俯仰自在に枢支されるネックピースと、該ネックピースに首振自在に支持されるモータ部(7)と、該モータ部(7)の回転軸に装着される羽根(8)と、該羽根(8)を放う如く前記モータ部(7)に装着される前後ガード(9)とよりなる。前記制御箱(6)は前

記壁面(Ⅱ)の下部に装着され、前記モータ部(7)の運転を制御する。前記制御コード(5)は前記制御箱(6)の取り付け高さに合わせて前記スタンド(3)より引き出したり、押し込んだりして行なう。

前記スタンド(3)は合成樹脂にて成型された支柱部(10)と基合部(11)とよりなるケース部材(12)と、該ケース部材(12)の開口を閉塞する板金覆蓋体(13)とよりなる。前記支柱部(10)の先端には二又部(14)を形成し、該二又部(14)に前記ネックピースを枢支している。前記支柱部(10)内には前記ケース部材(12)内を上下に仕切るリブ(15)及びコード保持用ピン(16)を形成している。前記モータ部(7)からの給電コード(17)は前記ケース部材(12)内の上空間に引き込まれ、前記制御コード(5)及び電源コード(18)と圧着端子(19)等にて接続される。前記制御コード(5)は前記リブ(15)の切欠(20)及び前記ピン(16)に蛇行係止させた後、前記ケース部材(12)内の下空間を通り、前記基合部(11)下側壁(21)に形成した切欠状伸通部(22)より前記ケース部材(12)外へ引き出される。前記伸通部(22)近傍の前記基合部(11)内には、弾性リブ(23)と、ピン(24)とボス(25)と

を突設している。前記弾性リブ(23)は前記下側壁(21)に対向して形成され、前記ピン(24)とボス(25)は前記弾性リブ(23)の両側に掘り分けて形成される。前記伸通部(22)と弾性リブ(23)の前記制御コード(5)への当接部分は円弧状に形成され、制御コード(5)との接触で傷つくことがないようにしている。前記箱体(13)は螺子(26)にて前記ボス(25)及び前記ケース部材(12)上部内に突設したボス(27)に固定される。前記リブ(15)の下縁は前記箱体(13)に当接すると共に前記ピン(16)は前記箱体(13)に係合する。よって前記制御コード(5)の強い引っ張りに対して前記ピン(16)がたわむことなく確実に前記制御コード(5)は保持される。前記ピン(16)の先端は前記箱体(13)に略当接して位置し、前記制御コード(5)は前記ピン(24)とボス(25)との間に保持される。前記箱体(13)と前記弾性リブ(23)端縁との間隙(Ⅲ)は前記制御コード(5)の厚さ(Ⅳ)より小さく形成している。よって前記制御コード(5)は前記弾性リブ(23)のたわみにて前記箱体(13)に押し付けられて保持される。前記伸通部(22)に対する前記箱体(13)の端縁は折曲されて円弧状となっている。

前記制御コード(5)の前記スタンド(3)内へ押し込んで短くする必要がある時は、第5図の如く前記弾性リブ(23)が前記制御コード(5)の押し込み方向にたわみ抵抗なくスムーズに押し込める。その後押し込みを止めると第6図の如く前記弾性リブ(23)が初期状態にもどり前記制御コード(5)を挾持する。前記制御コード(5)の引き出しを長くする必要がある時は、第7図の如く前記弾性リブ(23)が前記制御コード(5)の引き出し方向にたわみ抵抗なくスムーズに引き出せる。その後引き出しを止めると第8図の如く前記弾性リブ(23)が初期状態にもどり、前記制御コード(5)を挾持する。また第6図の状態から第7図の状態に移る時及び第8図の状態から第5図の状態に移る時、いくぶん強い抵抗があるが少し力を加えることで、前記弾性リブ(23)が反転する。さらに本実施例の如く、平形の制御コード(5)を使用するにあたっては、前記弾性リブ(23)の押圧にて前記制御コード(5)がよじれることなく引き出されるものである。

発 明 の 効 果

弾性リブのたわみと弾性力を利用し、電気コードの引き出し、押し込みが簡単な構造でもってスムーズに行なえ、保持も確実に行なえる等の効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

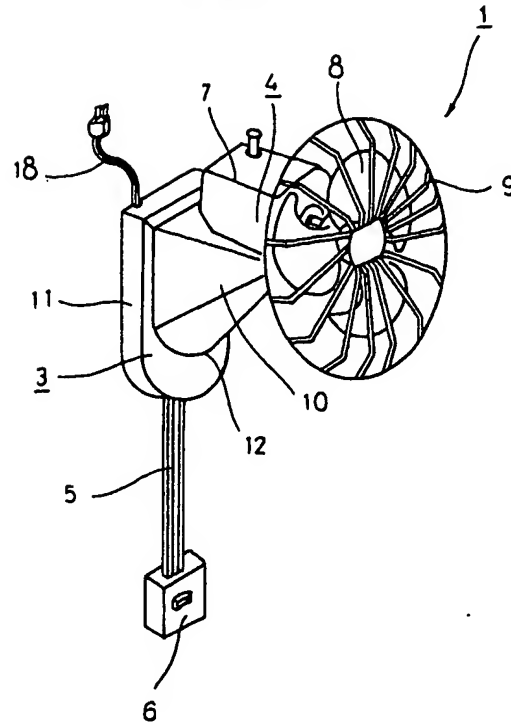
第1図は本発明を採用した壁掛扇風機の斜視図、第2図は同スタンドの縦断側面図、第3図は同ケース部材の背面図、第4図は要部断面図、第5図は制御コード押し込み状態の要部断面図、第6図は制御コード保持状態の要部断面図、第7図は制御コード引き出し状態の要部断面図、第8図は制御コード保持状態の要部断面図である。

(3)…スタンド(電気機器ケース)、(5)…制御コード(電気コード)、(12)…ケース部材、(13)…幕体、(22)…押通部、(23)…弾性リブ。

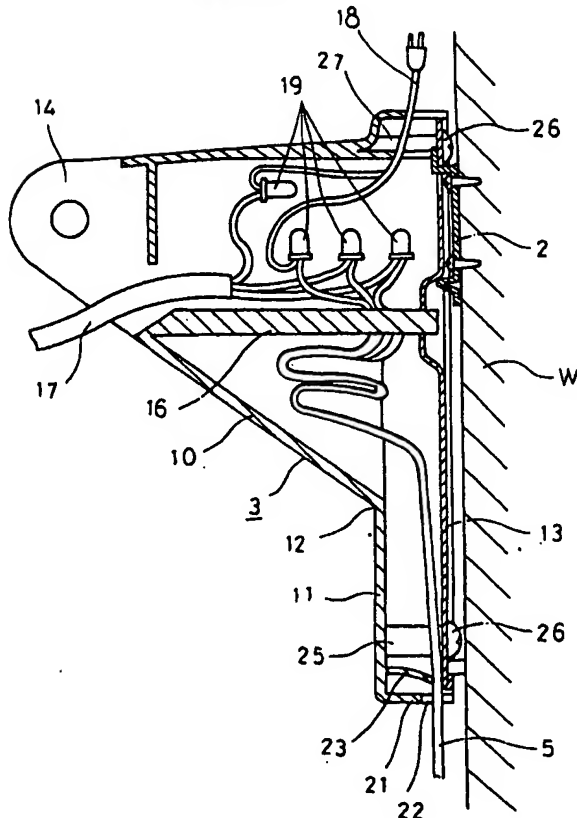
出願人 三洋電機株式会社

代理人 井堀士 佐野 静夫

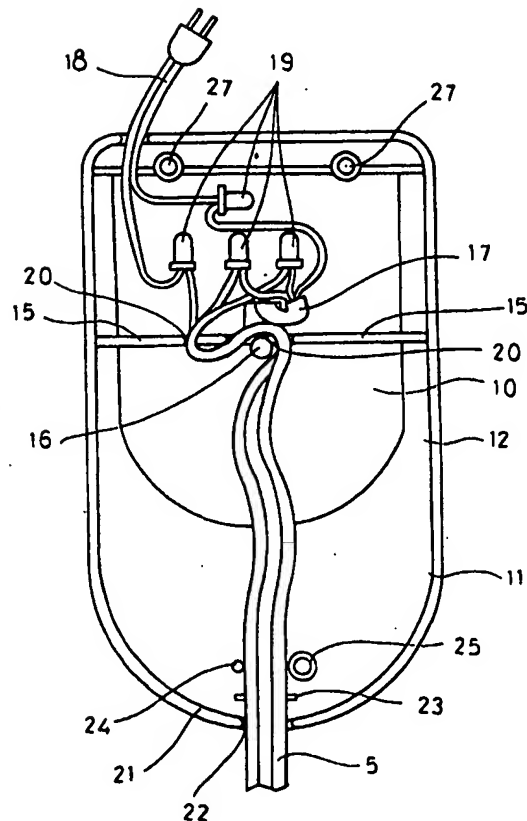
第1図



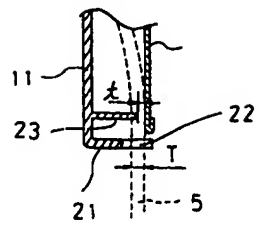
第2図



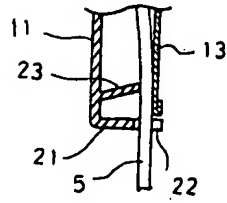
第3図



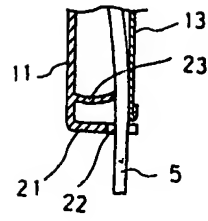
第4図



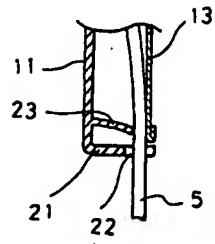
第5図



第6図



第7図



第8図

